

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

人や獣など動く物に鋭い刺を持つ種子がくっついて遠くへ運ばれ、子孫を拡げて行く戦略をとる！

子ども達の野遊びの人気者、くつつき虫…

『イノコヅチ』

平成26年10月1日

福岡市西区金武かなたけの里公園

大塚俊樹

## ★都市公園で自然観察会41★

春日公園で、いろいろな視点で植物や昆虫、野鳥などをゆっくりと観察します。

☆日時 10月19日 (日)

集合14時 ~ 解散16時

☆場所 春日公園・自然かんさつ館  
〔旧公園管理センター〕

※昨年度の定例総会で、観察会を有料にし、参加費を集めることに決まりました。活動経費の補助などに充てます。

会員200円、一般300円です。協力をお願いします。

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 092-400-1765 [FAX兼用]

Eメール kurabird-tamura@nifty.com

## ◆お知らせとお願い◆

環境フェスティバルふくおか2014にナイス福岡も参加します

会員の皆様の参加協力をお願いします。

日時 2014年10月18 (土), 19 (日)

10時~16時

場所 福岡市中央区の市役所西側ふれあい広場

※ナイス福岡の展示場所は、会場の自然保護ゾーンの<34番>です。

今回も「自然と遊ぼう 自然に学ぼう」という掛け声と共に、木の実や草の実などを用いて、自然の中での遊びや楽しさを伝えたいとの思いで、参加します。会員の皆様、2日間の中で、半日でも1日でも参加できる方は、事務局田村 (090-8220-6160) まで連絡をください。ほんの少し覗くだけでも構いません。また、当日参加はできないが、ドングリやオナモミ、あるいは引っ付き虫と言われる草の実などを集めて提供していただくことも歓迎します。



春日公園で10/7 くちなしの枝で見かけた幼虫

**日本野鳥の会 福岡支部 主催** ※一般参加費：300円（中学生以下無料）

10/19（日） 11/16（日） 天拝山探鳥会（筑紫野市） 時間：9:00～12:00 集合：天拝山歴史自然公園 問合せ：090-7165-5026（重松）	10/25（土） 11/22（土） 久末ダム探鳥会（福岡町） 時間：9:00～12:00 集合：久末ダム多目的広場横 駐車場（管理事務所下） 問合せ：0940-33-7846（高原和幸）	11/2（日） 今津探鳥会（福岡市西区） 時間：9:00～12:00 集合：玄洋高校西側道路 問合せ：092-891-9005（神園道男）
11/8（土） 大濠公園探鳥会（福岡市中央区） 時間：9:00～12:00 集合：ポート乗り場前 092-573-1827（森健児）	11/9（日） 和白海岸探鳥会（福岡市東区） 時間：9:00～12:00 集合：JR 和白駅前公園 問合せ：092-606-0012（山本廣子）	11/4（火） 県営春日公園（春日市） 時間：10:00～12:00 集合：旧公園管理センター前 問合せ：092-592-3423（小野仁）

**日本野鳥の会 筑後支部 主催** ※一般参加費：100円（中学生以下無料）

10/26（日）  
 黒崎公園と隈川周辺（大牟田市）  
 時間：9:00～  
 集合：黒崎公園第一公園グラウンド  
 問合せ：090-7446-9047（野田）



三国丘陵の自然を楽しむ会 観察の様子

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催** <http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>



アゼオトギリ 三国・松永

11/1（第1土曜日）  
 自然観察会（植物・昆虫・野鳥など）  
 集合：九州歴史資料館駐車場  
 時間：9:30～12:30  
 問合せ：092-920-3072（松永）

参加費：大人のみ 200円（保険料込）  
 ブログは 三国丘陵 [検索](#) で  
 すぐにヒットします。

**久留米の自然を守る会 主催**

10/19日（土）第416回例会  
 ネイチャーゲームと自然観察会  
 集合：高良内幼稚園駐車場  
 時間：10:00～13:30  
 参加費：無料 雨天中止  
 申込：要 定員30名  
 持ち物：水筒、弁当、筆記用具  
 運動靴、帽子  
 問合せ：0942-51-7064（古賀）  
 hashida@kurumenoshizen.net（橋田）  
 共催：くるめネイチャーゲームの会



ユモリグモの仲間 三国・松永

**和白干潟を守る会 主催**

10/25（土）  
 守る会定例会議  
 時間：10:30～13:00  
 集合：和白干潟を守る会事務所  
 問合せ：092-606-0012（山本廣子）

10/25（土）  
 クリーン作戦と自然観察会  
 時間：15:00～17:00  
 集合：海の広場 駐車場なし  
 長靴・軍手があると便利  
 問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

**福岡植物友の会 主催**

10/19（日）  
 唐津市七ツ釜（ホソバワダンなど）  
 参加有料 要予約  
 問合せ：092-575-3131（北野星二）

・～・ 福岡県レッドデータブック改訂版発刊記念シンポジウムのご案内 ・～・

～希少な生きものを守り、次世代に引き継ぐために～

**福岡県  
レッドデータブック改訂版  
発刊記念シンポジウム**

参加費 無料  
定員200名

**基調講演**  
矢原 徹一氏  
九州大学大学院理学研究院  
教授  
福岡県希少野生生物保護検討会議  
会長  
「福岡県レッドデータブック  
の意義について」

**パネルディスカッション**  
「希少な生きものを守るために  
私たちができること」

**日時**  
平成26年11月8日(土)  
13:00～17:00(開場12:30)  
(交流会 17:00～18:00)

**場所**  
ホテルレガロ福岡  
3階 レガロホールA  
(福岡市博多区千代1-20-31) <主催>福岡県  
<協力>(一般財団法人)九州環境管理協会



**福岡県レッドデータブック改訂版発刊記念シンポジウム**

本シンポジウムを通して、県民の方々にレッドデータブックや希少野生生物がおかれている現状について知っていただくとともに、希少野生生物の保全に関わる様々な立場の人々(県民・自然保護活動団体・有識者・行政関係者等)が活動の現状と課題について情報を共有し、それぞれの役割と課題解決のための連携の在り方について議論を深め、今後の取り組みにつなげる場にしたいと思います。



■「福岡県レッドデータブック(RDB)」とは?

県内の絶滅のおそれのある野生生物をリストアップし、その現状や減少要因などを明らかにしたものです。本県では、2001年に初のレッドデータブックを刊行し、2011年と2014年に改訂版を発刊しました。改訂版には、「本体版」とともに希少な動植物120種について写真やイラストを交えて分かりやすく解説した「普及版」があります。(書店などで好評発売中)

お申し込み  
お問い合わせ先

福岡県環境部  
自然環境課  
TEL 092-643-3368  
E-mail shizen@pref.fukuoka.lg.jp

■FAXまたはメールでお申し込みください。

■インターネットによるお申し込みもできます。

「ふくおか電子申請サービス:福岡県HP」  
(<http://www.shinsei.elg-front.jp/fukuoka/navi/pref/>)のキーワード検索欄で【レッドデータブック】を検索してください。

QRコードはこちら→



※受付は先着順です。  
定員(200名)になり次第、締め切らせていただきます。

12:30	開場・受付
13:00	開会の挨拶 レッドデータブック改訂版の概要 福岡県希少野生生物保護検討会議委員・分科会委員の紹介
<b>第1部</b>	
13:20	<b>基調講演</b> 「福岡県レッドデータブックの意義について」 矢原 徹一氏 (九州大学大学院理学研究院 教授) (福岡県希少野生生物保護検討会議 会長)
	<b>各地の保全団体からの活動報告</b> NPO法人ふくおか湿地保全研究会 日本カトガニを守る会福岡支部 まほろば自然学校 東筑紫学園高等学校理科部
<b>第2部</b>	
14:40	<b>専門家・研究者から見た希少野生生物の保全に関する課題</b> 小野 仁氏 (日本野鳥の会福岡支部 支部長) 福田 治氏 (日本鱗翅学会九州支部 自然保護委員長) 鬼倉 徳雄氏 (九州大学大学院農学研究院 助教)
	<b>福岡県の取り組みと今後の展望</b> 須田 隆一氏 (福岡県保健環境研究所環境生物課 課長)
<b>第3部</b>	
15:40	<b>パネルディスカッション</b> テーマ:「希少な生きものを守るために私たちができること」 コーディネーター: 矢原 徹一氏 パネリスト: 第1部・第2部の発表者 8名 (17:00 終了予定)
<b>交流会</b>	
17:00	お茶やお菓子をたべながら、色々な立場から「希少な生きもの」に関わっているみなさんと楽しくお話しませんか? 参加費無料 (ホテルレガロ福岡 3階 ローズルーム) (18:00 終了予定)

参加申込書 (下記欄へ必要事項をご記入の上、お申し込みください。) FAX 092-643-3357

参加希望	<input type="checkbox"/> シンポジウム(13:00～17:00)	<input type="checkbox"/> 交流会(17:00～18:00)
お名前	(ふりがな )	所属 (企業名・団体名・学校名等)
電話番号		FAX番号
Eメール		

情報提供です。

2014年9月28日、糸島市の知人から「タテハモドキ」が我が家を訪れてくれましたと報告がありました。10分前後留まってきて、しっかり写真を撮らせてくれたとのことでした。

「こうして改めて見ると、矢張り明らかにほかの蝶たちとは雰囲気の違いですね。」との感想でした。

協力は金貞俊彦氏でした。このチョウは現在、分布域を北に広げつつあるとのことでした。(まとめ 田字草)



# ◇ 報告 ◇ 春日公園自然観察会 2014年9月21日 (第40回)

実施日時 2014年9月21日(日) 14:00~16:00  
天気 曇  
参加者数 5人  
担当者 永松愛子(ナイス福岡)  
テーマ 自然観察を通して、自然への関心や理解を深めてもらう。  
コース かんさつ館~調整池広場~菖蒲池~かんさつ館

- ・秋の訪れを感じながら、園内を散策しました。
- ・アオギリやマキノキの実が熟していたり、ジョロウグモの巣が目立ってきたり、クヌギやスダジイなどどんぐりが落ち始めていました。
- ・公園内に沢山あるサクラの木の葉が、すでに色づき始めていました。
- ・冬鳥の到着を待ちどおしく思いながら散策しました。



マキノキの実・・・おいしかったですよ！



この溝、意外に色々な生きものがいるのです。



色づきはじめたサクラの木



クヌギのどんぐりまだ青いけど、沢山ついていた。

九月中旬過ぎ、古くからの友人と秋の気配を探して脊振山系の山々に入った。  
 雨がずっと降らず、然りとて乾燥もしておらず早秋の様子がチラホラ見え隠れしている。  
 マタタビの「虫えい」は既に落下しており、サルナシの果実は未熟だが、しかし沢山、蔓木についている。  
 溪川の水でコーヒーを沸かし、一息いれて三瀬峠の方へ車を走らせる…と、何か見なれぬ模様がアスファルトの上  
 あり、その上を通り過ぎて、アッと気がつき直ぐに停車！！  
 それは思ったとおり猪の足跡であった(その1)。しかし、なぜこんなにもハッキリと足跡が残っているのだろうか？  
 5m位の道幅を山側から谷側へ大きな足跡と歩幅、それに絡むような小さな足跡、その横に小さな歩幅の足跡、そして  
 少し離れたところに直線的に力強い感じの小さな歩幅の足跡が見受けられた。そして山側の道路直ぐ横にイノシ  
 シの使ったと見られる「ヌタバ」があった。水はなく乾いていた(その2)。ヌタバとは沼田場と書きイノシシなど  
 が体に付着したダニなどの寄生虫を落としたり、予防したり、また体温調節のため泥水浴びをする場所のことで、今  
 ままでに、山中や里山などいろんな場所でヌタバを見てきたが、またこんなにも道路直ぐ横にあるのは初めてで、泥水  
 は乾いていたが獣の臭いは残っていた。そして足跡はここから始まっていた…(その3～6)

足跡から少しメルヘンの世界へ…

脊振の山中に3頭のウリ坊を育てている、母ちゃんイノシシがおりました。  
 ウリ太郎とウリ次郎とウリ姫の3頭です。母ちゃんが3頭に云いました「今日は十五夜だからみんな泥浴びに行こ  
 うかね。昨日まで雨が降っていたから、きっと良いヌタバができてるヨ…」3頭は大喜びです。母ちゃんイノシシか  
 ら教わって心ゆくまで「ヌタバ打ち」を楽しみました。

「さあ、そろそろ帰ろうかね、この林道は昼間、自動車やオートバイがスピード出して走るから気をつけるんだヨ」  
 ウリ姫は母ちゃんイノシシに寄り添い、時々よろけながら小さな歩幅で歩きました。ウリ太郎はその横に小さな歩幅  
 でしっかりと歩きました。やんちゃなウリ次郎は少し離れた所に何かを嗅ぎながら皆と離れました、すると突然ガチ  
 ャガチャとくつわ虫が鳴きました。ビックリしたウリ次郎は急いでみんなのいる方へかけ出しました。

ヌタバ打ち上がりのみんなの泥の足跡がクッキリと道路の上に付きました。

これを見ていた十五夜のお月さまがにっこり笑って云いました

「みんな元気で大きくなれヨ…」(おしまい)

その2



その1



その3



その4



その5



その6



